

■尿検査で要精密検査と診断された方 保護者の方へ

園・学校での 尿検査の 役割

学校では、尿の中の「糖」「たんぱく」「潜血（血液成分）」の量が多くなっていないかを調べることで、腎臓などの病気の疑いを見つける役割があります。慢性腎炎や糖尿病など、初期には自覚症状のない病気でも発見することにつながり、病気が重くなる前に治療を開始することができます。

1次検査 2次検査で 調べること

● 1次検査

全員が受検します。検査には専用の試験紙を使います。「たんぱく」や「潜血」が検出された場合は約2週間後に実施する「2次検査」の対象となります。「糖」が検出された場合は、2次検査は行わず、その尿でさらに詳しい検査を行います。

● 2次検査

1次検査と同じ検査を行います。2次検査で「たんぱく」や「潜血」が検出された場合は、その尿でさらに詳しい検査を行います。

【さらに詳しい検査】

尿の中の「糖」や「たんぱく」「血球」の量や数を調べる検査を行います。

学校の尿検査で
わかることは、
「医療機関での詳しい
検査が必要かどうか」



精密検査の 要否の判定

「糖」「たんぱく」「血球」の量や数により以下を判定します。

- ① 異常なし
- ② かかりつけ医療機関受診のおすすめ
近隣の小児科等で受診しましょう。
- ③ 専門医療機関受診のおすすめ

専門医療機関で受診しましょう。

専門医療機関の参考一覧も一緒にお渡しします。



上記の②または③の場合に、今回同封している「尿検査結果のお知らせ」をお渡しし、医療機関の受診をおすすめしています。

尿に「糖」や「たんぱく」、「潜血」が検出される状態や病気はたくさんあります。検出されても、異常ではない場合もあります。



異常が見つかった場合でも、経過観察でよい場合もあれば、すぐに治療を開始する必要がある場合もあり、それは医療機関で詳しい検査をすることでわかります。

精密検査を受けて、お子さんの状況を知りましょう。